

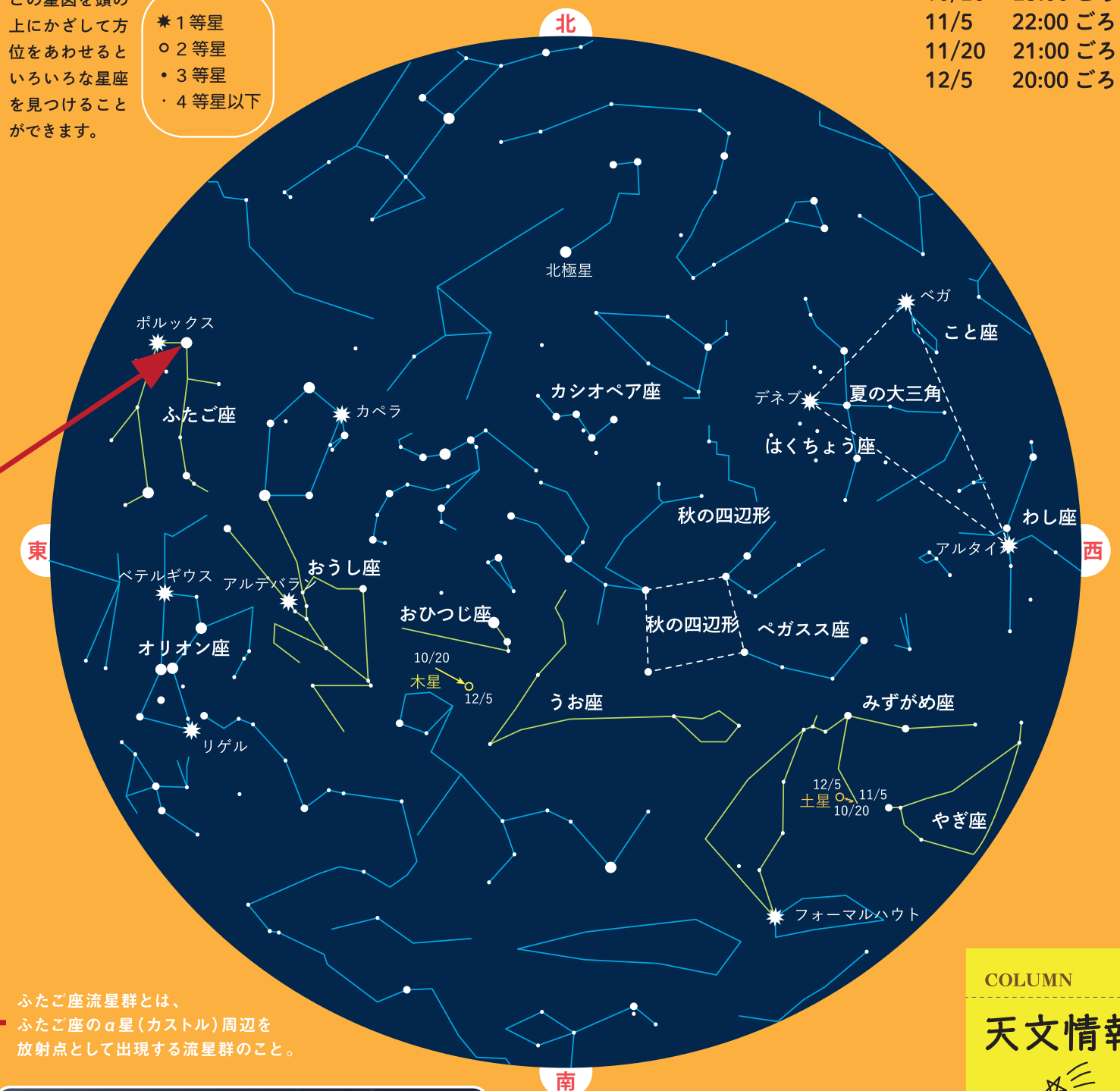
2023 AUTUMN STARRY SKY

秋の星図

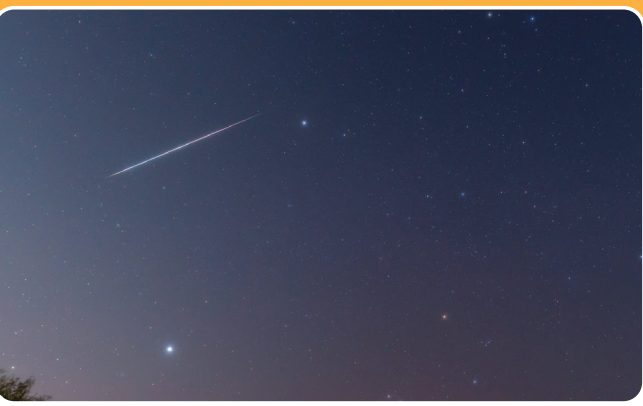
使い方

この星図を頭の上にかざして方位をあわせるといろいろな星座を見つけることができます。

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ・ 4等星以下



ふたご座流星群とは、ふたご座のα星(カストル)周辺を放射点として出現する流星群のこと。



三大流星群の一つ
ふたご座流星群
12月14日夜から12月15日明け方にかけて、ふたご座流星群の流星が最も多く見られると予想されています。多くの流星を見るためには、明るい月がないことや流星群のピークが暗い時間にあることなどが重要ですが、今年は13日が新月で、14日の夜は月明かりの影響もなくピークは夜明け前の午前4時と、絶好のチャンスです。雪がよく降る福井でも、この日限りは星が降る夜だと嬉しいですね。

COLUMN

天文情報



三大流星群の一つ
ふたご座流星群

12月14日夜から12月15日明け方にかけて、ふたご座流星群の流星が最も多く見られると予想されています。多くの流星を見るためには、明るい月がないことや流星群のピークが暗い時間にあることなどが重要ですが、今年は13日が新月で、14日の夜は月明かりの影響もなくピークは夜明け前の午前4時と、絶好のチャンスです。雪がよく降る福井でも、この日限りは星が降る夜だと嬉しいですね。

プラネタリウム 100周年 すごろく

1923年にドイツで近代的プラネタリウムが誕生してから今年で100周年。すごろく形式でプラネタリウムの歴史と変遷をたどってみましょう。



プラネタリウム投射機「GE-II」
© 福井県自然保護センター

福井県自然保護センター

1990年に開設した福井県自然保護センターでは、光学式プラネタリウムを使用しています。



プラネタリウム投射機「GE-X」
© 五藤光学研究所

敦賀市こどもの国

2015年にリニューアルした敦賀市こどもの国のプラネタリウムでは、光学式投射機とデジタル式映像投射機を併用したハイブリッド式投射機を使用しています。

スタート

プラネタリウム誕生の歴史は、紀元前にまでさかのぼります。球体に星や星座などを描いた「天球儀」や、太陽や惑星・月の動きを表すために考案された「天文時計」といった装置が発展していき、近代的プラネタリウムの誕生へと繋がっていったのです。



世界初の近代的プラネタリウム

1923年10月21日、ドイツ博物館で世界初の近代的なプラネタリウム「カールツァイスI型」が公開されました。集まった人々は映し出された人工の星空に驚き、「イエナの驚異」と大絶賛しました。



カールツァイスI型
© ZEISS Archiv

天象儀って何?

天象儀(てんしょうぎ)とは、プラネタリウムの日本語の呼び名です。



光学式プラネタリウムとは?

星の配列に合わせて孔があいた恒星原版に光を当て、レンズでスクリーンに星を映すプラネタリウムです。世界初のプラネタリウム「カールツァイスI型」もこの方式です。



福井のプラネタリウム

2023年8月現在、一般放映を行っているプラネタリウム施設は県内に4カ所あります。

- ・エンゼルランドふくい(福井県児童科学館)
- ・敦賀市こどもの国
- ・福井県自然保護センター
- ・福井市自然史博物館分館(セーレンプラネット)

日本にはいくつプラネタリウムがある?

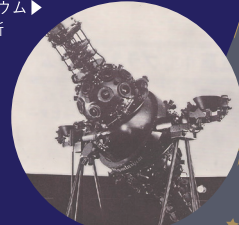
これまでに473施設が作られ、現在稼働しているのは約300施設です。

日本初のプラネタリウム

1937年、日本初のプラネタリウムが大阪市立電気科学館で公開されました。日本初であり、東洋初のプラネタリウムです。

国産のプラネタリウム

1950年代には国産のプラネタリウムが誕生し、複数の光学機器メーカーがプラネタリウムの開発を行いました。



レンズ投射式プラネタリウムM-1型 © 五藤光学研究所

ゴール!! おめでとう!! プラネタリウム博士

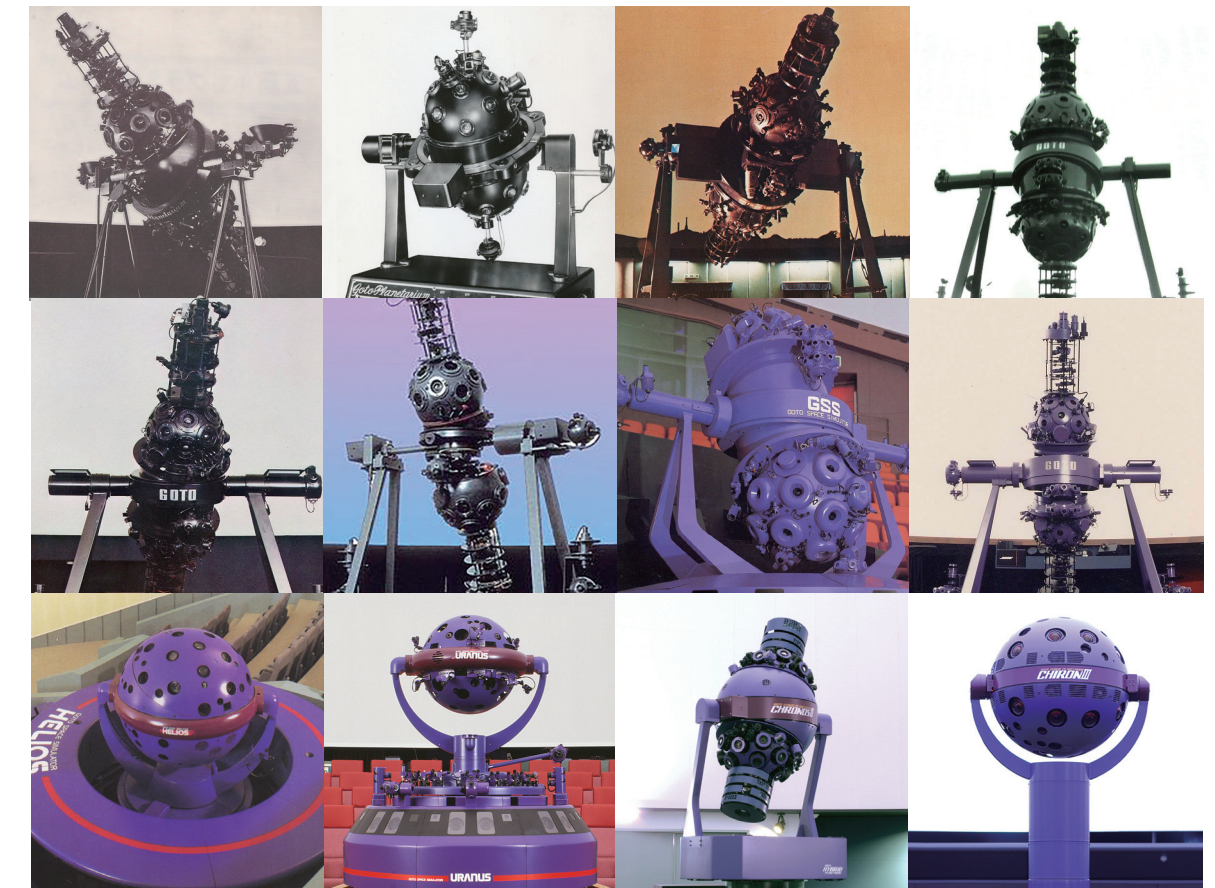


ふくいの宇宙はネタだらけ。

ソラネタ

セーレンプラネットフリーマガジン
2023
10-12
AUTUMN
vol.10

プラネタリウム 100周年



©GOTO

CONTENTS

すごろくでプラネタリウムを観に行こう!!

秋の星図／天文情報／ドームシアター放映カレンダー／イベントインフォメーション／年間パスポート情報

